

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

H30.12.1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4	2	活動に関しては、現在のスペースで行うのに適した内容にしています。また、身体を動かした活動をするために、近隣の公園や広場、児童館等の社会資源を活用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	2	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3		ヒヤリハットの改善や月に一度の施設長間によるミーティングで業務の改善を考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		昨年アンケートを実施、施設での話し合い及び同法人の施設長間で意見交換会を行いました。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	1	昨年アンケート結果を保護者様に向けて配布いたしました。今年度はホームページに掲載予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	2	研修への参加が積極的にできるように、職員へ呼びかけを行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		第三者評価は実施していないので検討していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		児発管を中心に月に一度職員間でのアセスメントを実施しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		1	月に1度、職員全体でのミーティングを行い、支援について話し合い、実践の内容を決定しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		イベントについては、定期的に行うイベントや、その都度計画するイベントがあり、プログラムが固定化しないようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	1	長期休暇に関しては、子どもが「こんなことを感じて欲しい」「こんな体験をして欲しい」等の目標を立て、職員の役割やタイムスケジュールの打ち合わせを行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			児発管を中心に支援の共有化と意見交換をおこない、計画を策定しています。今後は、職員間の共通認識と共通理解をはかることに更に力を入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	1	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5	1	朝礼では子どもの支援について何を気を付けるのか、どんな活動を行うのか等共有しています。朝礼ができない土日祝日については、休み前に実施をしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	1	支援についての記録に関しては、徹底ができています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			モニタリングに関しては、月に一度全職員が集まり実施をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	3		ガイドラインについては、周知の徹底ができるように、朝礼の時間を使い、読み合わせをしています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	4		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4	1	今後も、学校との情報交換や連携を密に取って行きます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		現在、医療的ケアが必要な児童を受け入れておりません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3		送迎時には保護者様に今日の様子をお伝えしています。また、連絡ノートに記載し、伝え漏れの無いようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4		児発管についてはSSTの知識があり、それに基づいて支援をしています。また、全職員がSSTに基づいた支援を実施できるように、定期的に勉強会を開きます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	2	児童館が事業所近くにあるので、通いながら地域の児童と交流をはかっていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		児発管を中心に適切な助言を行うようにしています。また、質問や疑問があれば、その都度お答えをしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			定期的に保護者様と管理者・児発管との交流会を開催しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	2	定期的にステキ通信として保護者様に広報をお渡しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		事故防止委員会を置き、苦情に対する対応を周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		定期的にステキ通信として保護者様に広報をお渡しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5		1	夏祭り等を開催し、近隣住民の方と交流が図れる機会を提供しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1	1	個人情報教育に関して管理者より、入社時のみならず定期的に教育実施します。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	1	新職員に対する事業所活動の歴史も伝えていくようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1	簡単に行動ができるように、行動のチェックシートをデイルームに置き、すぐに対応できるようにしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年に2回避難訓練を実施するとともに、非常災害対策委員会を置き
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		6		支援の質向上委員会を設置し、委員が中心となって虐待防止の研修を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	1	事故防止委員会を設置し、その中でヒヤリハットについての共有を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		